



コロナ禍での働き方、社会人エンジニアの4割が「フルリモート」

リモートワーク事情調査(前編)



レバテック株式会社が運営する、ITエンジニア特化型中途向け転職支援エージェント、レバテックキャリア (<https://career.levtech.jp/>) は、社会人エンジニア300名及び中途エンジニアを採用する企業の採用担当者296名を対象に、ITエンジニアのリモートワーク事情調査を実施しました。今回は前編・後編に分かれた発表となり、本記事では「リモートワーク事情調査」の前編として、ITエンジニアのリモートワーク導入状況についてお届けいたします。後編は3月17日に公表予定です。

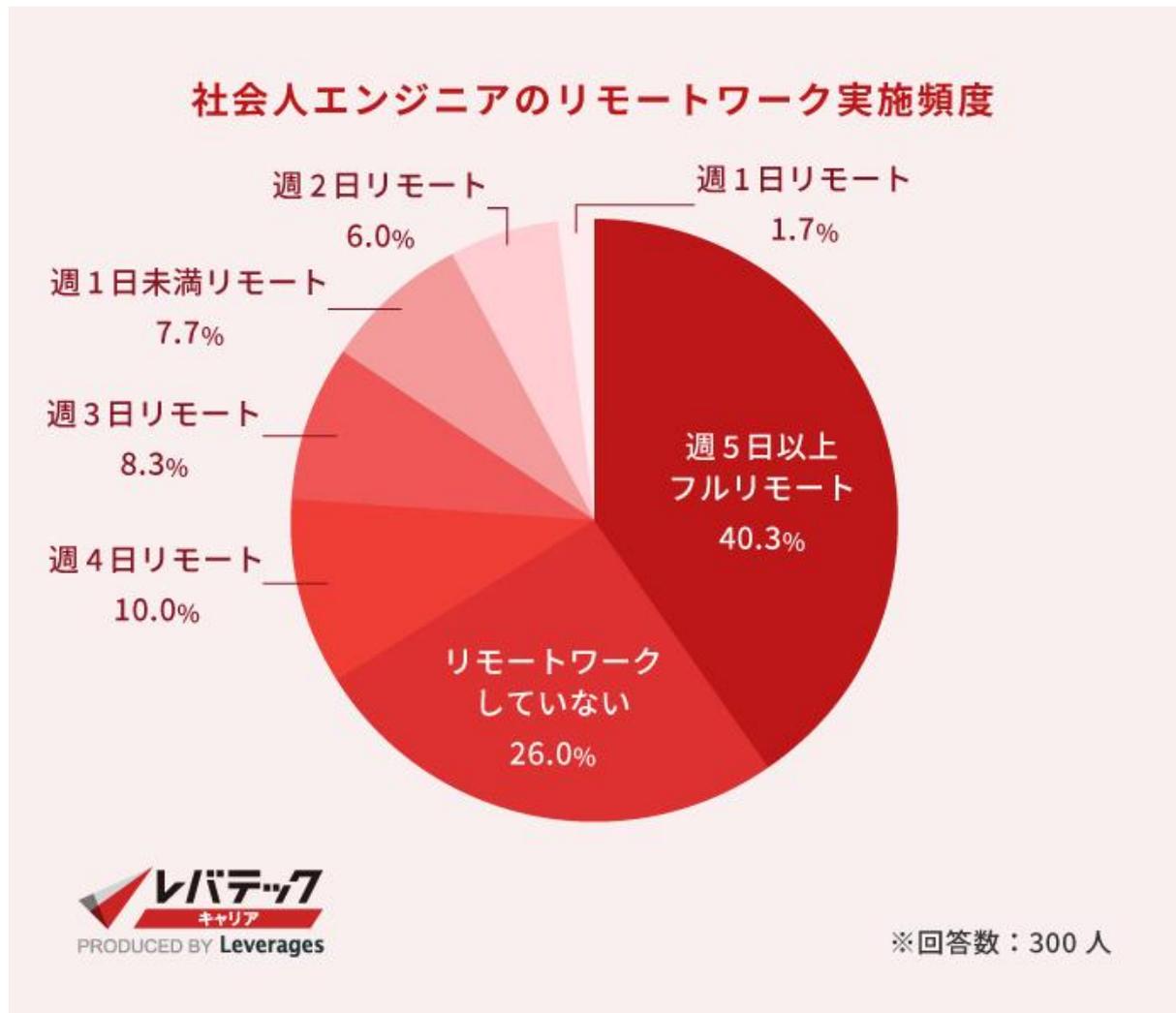
<調査サマリー>

1. コロナ禍での働き方、社会人エンジニアの4割が「フルリモート」と回答
2. エンジニア採用企業、9割以上がリモートワークを導入
3. 企業のリモートワーク導入理由のうち、最も回答が多かったのは「新型コロナウイルス感染予防のため」

①コロナ禍での働き方、社会人エンジニアの4割が「フルリモート」と回答

社会人エンジニアで、現在リモートワークをしている人は全体の74%となり、そのうち半数以上の人フルリモートで働いていることが分かりました。業態別では、フルリモート率が最も高かったのは「コンサルティング企業(70.0%)」、ついで「SIer(46.6%)」「自社開発企業(45.6%)」と続きます。顧客折衝の有無は、働き方に大きく影響しないようです。

一方で、リモートワークをしていないと回答した人は全体の26%と、約4人に1人が現在も出社をしています。業態別では、「受託開発(31.7%)」が最も多く、ついで「SES・派遣(31.3%)」「自社開発企業(29.8%)」という結果になりました。



業態	フルリモート率
コンサルティング企業	70.0%
SIer	46.6%
自社開発企業	45.6%
受託開発	31.7%
SES・派遣	31.3%
自社開発企業	29.8%

社会人エンジニアのリモートワーク実施頻度（業態別）

	週5日以上 フルリモート	週4日 リモート	週3日 リモート	週2日 リモート	週1日 リモート	週1日未満 リモート	リモートワーク していない
自社開発企業	45.6%	10.5%	8.8%	1.8%	0%	3.5%	29.8%
Sier	46.6%	10.7%	11.7%	3.9%	2.9%	5.8%	18.4%
SES・派遣	35.9%	14.1%	3.1%	9.4%	1.6%	4.7%	31.3%
受託開発	25.4%	6.3%	7.9%	9.5%	1.6%	17.5%	31.7%
コンサルティング	70.0%	0%	10.0%	0%	0%	0%	20.0%
その他	33.3%	0%	0%	33.3%	0%	33.3%	0%



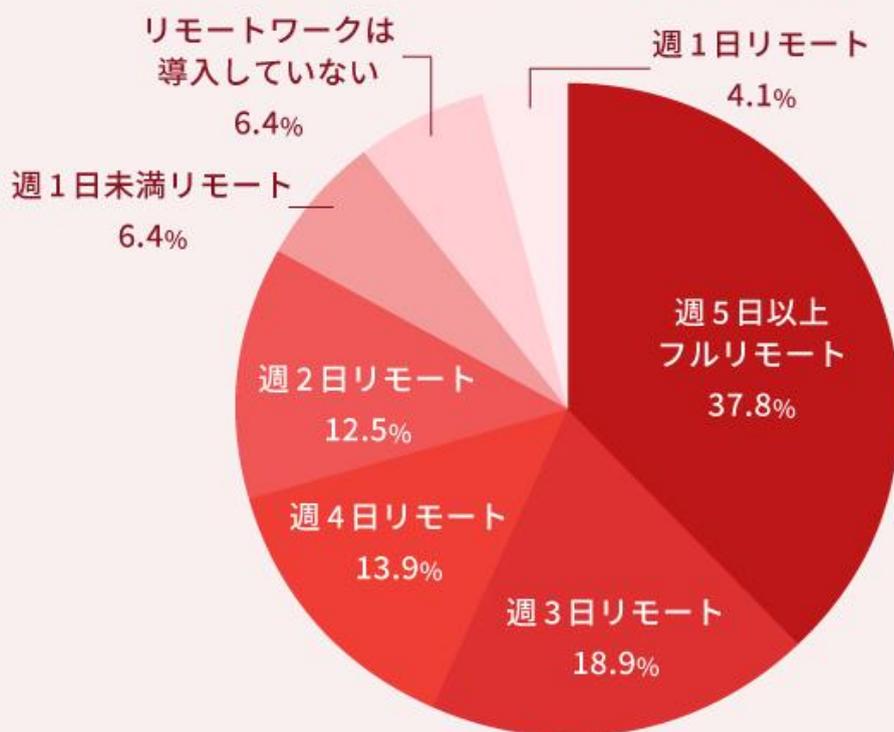
※回答数：300人

②エンジニア採用企業、9割以上がリモートワークを導入

エンジニアを採用する企業では、ほとんどがリモートワークを導入していると回答し、全体の約4割がフルリモートで勤務している結果になりました。調査期間中（2022年2月8日～2022年2月13日）に、新型コロナウイルスのオミクロン株が広がりを見せました。この感染拡大第6波の影響を受けたこともあり、大多数がリモートワークをしています。業態別で見ると、フルリモートを導入する企業で最も多かったのは「コンサルティング企業（75.0%）」、ついで「自社開発企業（43.2%）」「SES・派遣（41.5%）」となりました。

一方で、「リモートワークは導入していない」と回答した企業は6.4%。業態別では、顧客折衝の伴う「Sier（1.0%）」「SES・派遣企業（2.4%）」の回答は少なく、ほとんどの請負企業がリモートワークを導入していることが見受けられます。

企業のリモートワーク導入頻度



企業のリモートワーク導入頻度（業態別）

	週5日以上 フルリモート	週4日 リモート	週3日 リモート	週2日 リモート	週1日 リモート	週1日未満 リモート	リモートワークは 導入していない
自社開発企業	43.2%	11.1%	13.6%	12.3%	3.7%	8.6%	7.4%
Sier	30.6%	15.3%	26.5%	16.3%	7.1%	3.1%	1.0%
SES・派遣	41.5%	12.2%	19.5%	14.6%	2.4%	7.3%	2.4%
受託開発	32.8%	17.2%	15.5%	5.2%	1.7%	10.3%	17.2%
コンサルティング	75.0%	16.7%	8.3%	0%	0%	0%	0%
その他	33.3%	0%	16.7%	33.3%	0%	0%	16.7%



※回答数：296人

③企業のリモートワーク導入理由のうち、最も回答が多かったのは「新型コロナウイルス感染予防のため」

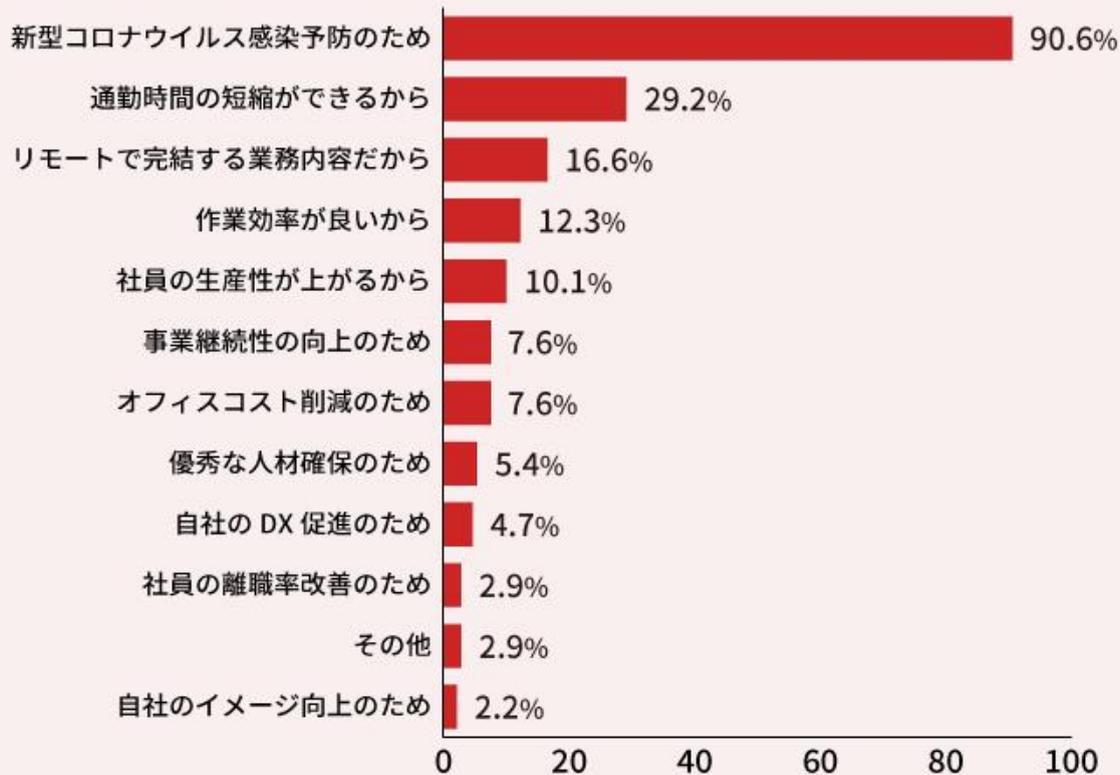
企業がリモートワークを導入する理由で最も多かったのは「新型コロナウイルス感染予防のため(90.6%)」、ついで「通勤時間の短縮ができるから(29.2%)」「リモートで完結する業務内容だから(16.6%)」と続きます。感染リスク回避はもちろんのこと、出社する必要性がないと判断する企業も多いようです。(複数回答)

一方で、回答が少なかったのは「社員の離職率改善のため(2.9%)」「自社のDX促進のため(4.7%)」という結果になりました。自社の組織課題や業務課題の解決策を主な理由として、リモートワークを導入する企業は少ないようです。

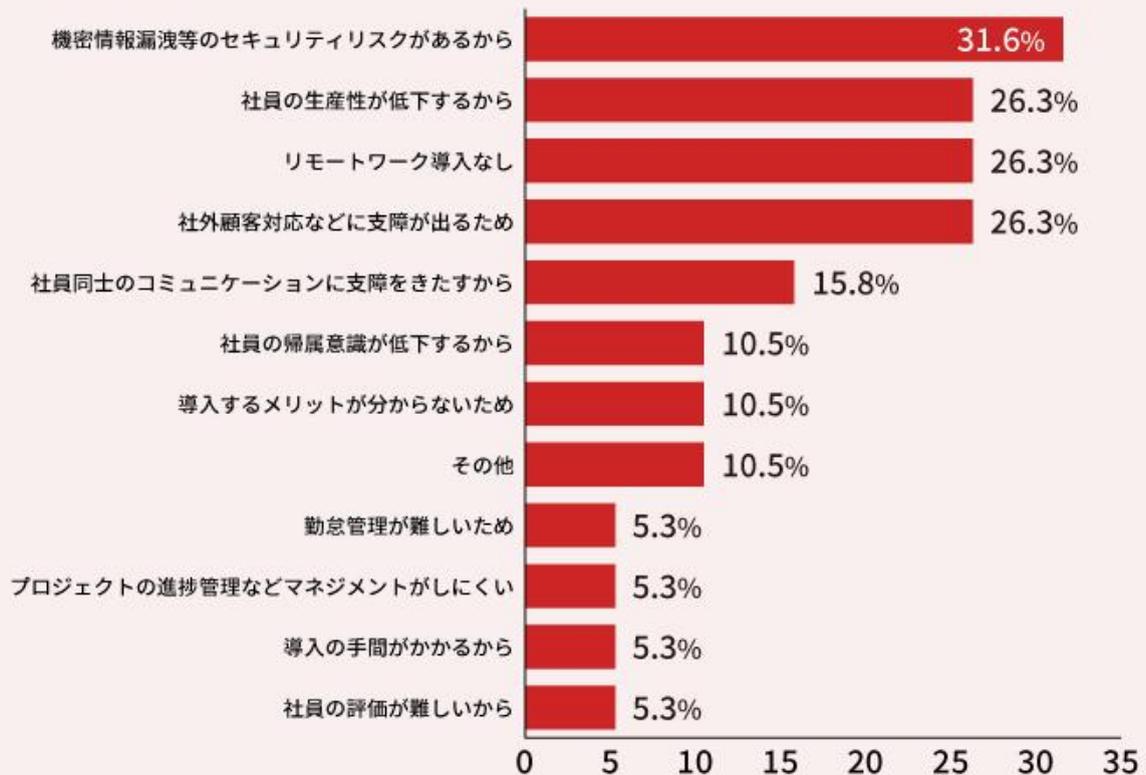
リモートワークを導入していない企業の理由として最も多かったのは「機密情報漏洩等のセキュリティリスクがあるから(31.6%)」、ついで「社員の生産性が低下するから(26.3%)」「社外顧客

対応などに支障が出るため(26.3%)」と、なりました。事業内容や業務内容の特性上、リモートワークを導入できない企業も一部存在するようです。(複数回答)

企業のリモートワーク導入理由



企業のリモートワークを導入しない理由



<事業責任者泉澤からの一言>

今回の調査から、勤務先の業態を問わず7割以上のエンジニアがリモートワークを実施しており、そのうち約半数がフルリモートで働いていることが分かりました。さらに、エンジニアを採用する企業ではほとんどがリモートワークを導入しており、感染対策の他にも勤務時間の短縮や作業効率の向上を理由に、実施している企業も存在するようです。

コロナ禍でのリモートワークの働き方は、世の中に定着しつつあるように伺えます。今後は、自社の採用力強化や社員の定着率向上などの、感染予防以外を目的とした働き方の見直しや環境の整備が、企業には求められるのではないのでしょうか。

<調査概要>

調査対象：社会人エンジニア300名/エンジニアを採用する企業の中途採用担当者296名

調査会社：楽天インサイト株式会社(調査協力)

集計期間：2022年2月8日～2022年2月13日

調査方法：Webアンケート調査

有効回答数：300名(中途採用担当者296名)

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「IT業界のエンジニア・クリエイターの人生に寄り添う」をミッションに掲げ、Web・IT業界のエンジニアと企業を繋ぐSES(システム・エンジニアリング・サービス)事業を展開しています。現在は業界最大手のフリーランスエンジニア専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、転職エージェント「レバテックキャリア」など、エンジニア・クリエイターのキャリアアップのための様々なサービスを提供。累計登録者は20万人を超えます。



フリーランス・派遣・転職を支援するITエンジニア/クリエイター専門サービス



▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

レバレッジズ株式会社 広報部

TEL:03-5774-1632 MAIL: pr@leverages.jp